

研究名称	維持血液透析患者における予後因子の検討
研究機関	長崎腎病院
研究責任者	船越哲
共同研究機関	なし
研究の目的と意義	維持血液透析患者さんにおいて、検査結果および投与薬剤により予後に影響があるかどうかについて、後ろ向きに検討を行う。
研究の方法	カルテから得られる情報により維持血液透析患者さんの生命予後因子を患者背景、検査結果を用いて解析を行う。 ・利用する情報 患者背景：年齢、性別、透析歴、末期腎不全の原疾患、合併症、透析条件、血圧、血液検査（Hb, Alb, BUN, Cr, Ca, P, intact-PTH, ALP, Fe, TIBC, フェリチン, TG, T-Chol, CRP）、胸部レントゲン写真、ABI、心エコー、頸動脈エコー、投与薬剤
研究期間	2011年7月1日～2020年12月31日
研究対象者として選定された理由	18歳以上の血液透析患者であること
研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益	研究対象者に生じる負担はなく、研究対象となることで利益およびリスクは伴いません。
問い合わせ先	氏名：船越哲 長崎腎病院 住所：〒850-0031 長崎県長崎市興善町5-1 電話：095-824-1101 FAX：095-824-1181